

加 佐

学校だより12月号
令和4年12月1日
舞鶴市立加佐中学校

TEL 83-0004 FAX 83-3201

<https://kasa-maizuru.edumap.jp/>



師走の候 保護者・地域の皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より本校教育にあたたかいご理解・ご支援をいただきまして誠にありがとうございます。

3年ぶりの「花いっぱい運動」は、6月の由良川地域と同様に民生委員様を中心にたくさんの皆様に支えていただき万全な感染防止対策と併せて準備を整えました。生徒たちが岡田地域の高齢の方々と親しくふれあい、改めて校区で多くを学ぶ貴重な機会となりました。ご協力誠にありがとうございました。



3年前の花いっぱい運動

広報まいづる2020.1月号より

11月は幅広く実社会とつながり、体験を通して深く学ぶ活動を重ねました。3年生は「保育実習」(八雲保育園様)、2年生は「わたしたちのまち講座」(舞鶴高専・市土木課様)、1年生は「フィールドワーク」(舞鶴漁連様)、更に「知的好奇心出前講座」(工芸繊維大:深田智教授)を全校で受講しました。また、一般財団法人タチョナ(Touch on art 北村成美先生)による身体表現の講座シリーズ集大成として、「加佐中学校」を題材に生徒たちが描く、舞踏と音楽の融合による創作オペラ風の舞台表現を保護者の皆様とともに楽しみました。体育祭や文化祭で鍛えた表現力を活かして完成した芸術色豊かな作品が放つエネルギーとクオリティに、ひと時心を奪われました。

ウェルビーイング Well-being

我々人類は、古より幸福について思いを巡らし追い求めてきました。

文科省の中央教育審議会 次期教育振興基本計画の策定に向けた会合で、基本方針のうちの一つとして「日本型ウェルビーイングの向上」について審議されました。ここでのウェルビーイングとは、「身体的・精神的・社会的に良い状態にあることを示していて、生きがいや人生の意味など将来にわたる持続的な幸福を含むもの。」であり、さらに「自尊感情や自己有用感が高いことが人生の幸福をもたらす。」との考え方から、「単に獲得的な幸福だけでなく、協調的幸福とのバランスの取れた状態が望ましい。」とまとめています。また、「日本的な人とのつながりや、思いやり、利他性・社会貢献意識などを重視する協調的な幸福感は、重要な意味を有している。」としています。

保護者の皆様方には、12月8日からの三者懇談会のためにお時間をいただきます。生徒一人ひとりの理想の未来につなげていくための、充実した時間になりますよう、ご協力をよろしくお願いします。

保護者・地域の皆様方の変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。お体を大切に、どうぞご自愛ください。

舞鶴市立加佐中学校 校長 福本 浩介 教職員一同

